

5/19-25#22神の傑作としての一人の新しい人の創造主。I.神が人を創造した意図は、団体の人を持って、神を表現させ神を代行させることでした。創1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。そして彼らに、...全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう。」

A神は人をご自身のかたちに創造して神を表現させ、人に神の統治権を与えて、人が神を代行して神の敵を対処するようにしました。B新創造の中にある新しい人としての召会は、神の表現のために神のかたちを帯び、神の王国のために神の敵と戦います。C古い人の中で分裂し、まき散らされたものが、新しい人の中で回復されます。

II.神の詩、傑作としての新しい人は、キリストの死を通して、キリストの復活の中で創造されました。エペソ2:10 なぜなら、私たちは神の傑作であり、良い働きのために、キリスト・イエスの中で創造されたからです。15 数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり、16 また十字架を通して、両者を一つからだの中で神に和解させるためでした。それによって敵意を殺してしまったのです。

A私たちは15節の二つの句、「彼の肉体の中で」と、「ご自身の中で」に十分な注意を払う必要があります。1キリストは「彼の肉体の中で」、宇宙のすべての消極的な事物を終わらせました。神の敵、悪魔サタン、罪、墮落した人の肉、サタンの邪悪な体系であるこの世、コスモス、古い人で代表される旧創造、律法の分離する規定です。2キリストは範囲、要素、本質としての「ご自身の中で」、ユダヤ人と異邦人を一人の新しい人へと創造しました。B新しい人の創造において、まず私たちの天然の人が、キリストによって十字架につけられました。次に古い人を取り除くことを通して、キリストは神聖な要素を私たちの中へと分け与えて、私たちを神の働きの傑作、宇宙における完全に新しい項目、神の新しい発明とさせました。1「傑作」のギリシャ語は「ポイエマ」であり、「詩として書かれた、あるいは作られたもの」を意味します。3私たち、召会は、神の働きの傑作であって、神の無限の知恵と神聖な構想を表現する詩です。召会は、キリストであるすべてについての神の知恵ある展覧です。3:10 今、天上にある支配たちや権威たちに、神の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり。4.aキリストは私たちの義です（私たちの過去のため）。それによって、私たちは神によって義とされました。それは、私たちが霊の中で再び生まれて、神聖な命を得るためです。

1コリ1:30 あなたがたがキリスト・イエスの中にあるのは、神によるのです。このキリスト・イエスは、神から私たちに与えられた知恵、すなわち、義と聖別と贖いとなられました。bキリストは私たちの聖別です（私たちの現在のため）。それによって、私たちは彼の神聖な命をもって、魂において聖別されつつあります（私たちの思い、感情、意志において造り変えられつつあります）。cキリストは私たちの贖い（私たちの将来のため）、私たちの体の贖いです。それによって、私たちの体は、彼の神聖な命をもって変貌させられ、彼の栄光の様を持つようになります。5私たちがそのような全体的で完全な救いにあずかることによって、私たちの全存在（霊、魂、体）は有機的にキリストと一になり、キリストは私たちのすべてとなり、私たちはキリストであるすべてについての知恵ある展覧となります。これらすべては神によります。

III.キリストは十字架上で、数々の規定から成っている戒めの律法、隔ての中垣を、彼の肉体の中で廃棄して、ご自身の中で新しい人を創造しました。エペソ2:14 なぜなら、彼ご自身は、私たちの平和であって、両者を一つにし、そして敵意である隔ての中垣を取り壊し。A15節で語られている律法は、道徳の戒めの律法ではなく、儀式の戒めの律法、例えば、割礼、安息日を守ること、ある食物を食べることなどの規定です。B規定は生活と礼拝の形式や方法であり、それが敵意と分裂を造り出します。1十字架上で、キリストは生活と礼拝に関するすべての規則、諸国民を分裂させた規則を廃棄しました。コロ2:14 私たちに敵対し、私たちに逆らっていた、数々の規定から成っている手書きの書を消し去り、それを取り除いて、十字架に釘づけてしまわれたのです。2.aキリストが、私たちの唯一の源であるべきです。私たちは自分の背景、文化、国民性の何ものにも、私たちの源とならせるべきではありません。bこの世の人は、文化的な違いを誇りの源と考えますが、キリストの中で、私たちはこの誇りを捨てました。今や私たちの唯一の誇りはキリストであり、真の一です。c私たちが進んで自分の文化の誇りを放棄するなら、主は正常な召会生活を持つことができます。

IV.私たちは一人の新しい人のために、また一人の新しい人の中で、キリストの平安に、私たちの心を裁定させる必要があります。3:15 キリストの平安に、あなたがたの心を裁定させなさい。この平安のためにあなたがたも、一つからだの中で召されたのです。そして感謝にあふれていなさい。A「裁定する」のギリシャ語はまた、「審判する、つかさどる、あらゆることの支配者、決定者としての位に就く」と訳すことができます。私たちの心の中のキリストの裁定する平安

は、あらゆる人に対する私たちの不満を解決します。

B私たちはしばしば、内側に三当事者がいることに気づきます。それは積極的な当事者、消極的な当事者、中立的な当事者です。このゆえに、内側の裁定が、私たちの内側の論争を解決する必要があります。**2**私たちは自分の意見、観念をわきに置き、内住する審判者の言葉に聞き従う必要があります。**C**もし私たちがキリストの平安に私たちの心を裁定させるなら、この平安は私たちの間のすべての論争を解決します。そして私たちは垂直には神と平安を持ち、水平には聖徒たちと平安を持ちます。**1**キリストの平安が裁定することを通して、私たちの問題は解決し、聖徒たちの間の摩擦は消えます。そして召会生活は甘さの中に保たれ、新しい人は実際に維持されます。**3**私たちが、御座に座すキリストの平安の支配の下にとどまっているなら、人を怒らせたり、傷つけたりすることはありません。むしろ、主の恵みによって、また彼の平安をもって、私たちは人に命を供給します。**4**この平安はすべての信者を共に結ぶべきであり、結合するきずなとなるべきです。エペソ4:3 平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つことを熱心に努めなさい。

V.一人の新しい人の中でキリストはすべての肢体であり、すべての肢体の中におられます。コロ3:10新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。**11** その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。**A** 私たちの中に住んでいるキリストが、一人の新しい人の構成要素です。**1**キリストが新しい人のすべての肢体であるので、新しい人の中にはいかなる天然の人(いかなる種族、国籍、文化、社会的身分)もあり得ず、天然の人に対する地位は一切ありません。**3**一人の新しい人の中にはただ一人のパーソン、すべてを含むキリストがおられるだけです。**B.1** 召会はキリストのからだとして、キリストをその命として必要とします。召会は一人の新しい人として、キリストをそのパーソンとして必要とします。**3.a** 私たちは、キリストをパーソンとし、私たちの中ですべての決定を下す方とすることによって、新しい人の中の生活をする必要があります。**b** 私たちは自分が一人の新しい人の一部であることを見るなら、自分だけで事を決定することはできなくなります。私たちは、自分が団体のからだ、また団体の新しい人であることを見る必要があり、また私たちの生活(パーソン)も行動(命)も団体のものであることを見る必要があります。

4私たちはエペソ2:15の「一人の新しい人」を、ローマ15:6の「一つの口」と、1コリント1:10の「同じ事を語り」と一緒に見る必要があります。**a** 過去、あまりにも多くの口があったのは、あまりにも多くのパーソンがあったからです。**c** 私たちは数が多く、多くの場所から来ていても、みな一つの口を持ち、みな同じ事を語ります。これは、私たちがみな一人の新しい人であり、ただ一人のパーソンを持っているからです。

証:IV.「私たちは一人の新しい人のために、また一人の新しい人の中で、キリストの平安に、私たちの心を裁定させる必要があります」について証します。

私は米国の会社に勤めていた時、会社組織上、先ず日本法人の社長に、そして次に米国本社の担当役員に報告する義務がありました。時々、「この案件は、社長に知らせたくない」と考えることがありました。そのように考えた時、内側に葛藤があり、不安になりました。あらゆる秩序は神が定めたものであることを自分自身にリマインドして、祈りました、「おお主イエスよ、私は社長を上司として尊重し、彼に全体の状況が把握できるようにすべての事を丁寧に説明する必要があります。誤解を避けるように説明する必要がありますが、基本的に全部開示すべきです。キリストを知恵とし、キリストの平安に心を裁定していただきます。そうしないと、私には平安がありません。私は平安の中で初めて、大胆に前進できるのです」。このようなキリストの平安に心の中を裁定させることで、内側の葛藤や不安は消え去りました。この平安は私の心のすべての論争を解決しました。私は垂直には神と平安を持ち、水平には人間関係(社長との関係は上下関係ですが、神との関係に比べると、ここでは水平の関係になります)において平安を持つことができました。私は七年間、彼に仕えましたが、最初から最後まで、良好な関係を持つことができました。また、社長のサポートの下で、私は米国担当役員とも良好な関係を築くことができました。私は神と人との間の平安を持つことができたので、ビジネス遂行において神の祝福を享受できました。私はキリストの平安に裁定させるというこの秘訣を、若い時の召会生活と大学院の研究生活の中で学びました。そして、その秘訣を現実のビジネスライフにも適用することができました。

祈り おお主イエスよ、キリストは十字架上で、数々の規定から成っている戒めの律法、隔ての中垣を廃棄されました。私はキリストの平安に、私の心を裁定していただきます。自分の意見、観念をわきに置き、内住する審判者の言葉に聞き従い、復活の中で新しい人の生活をします。